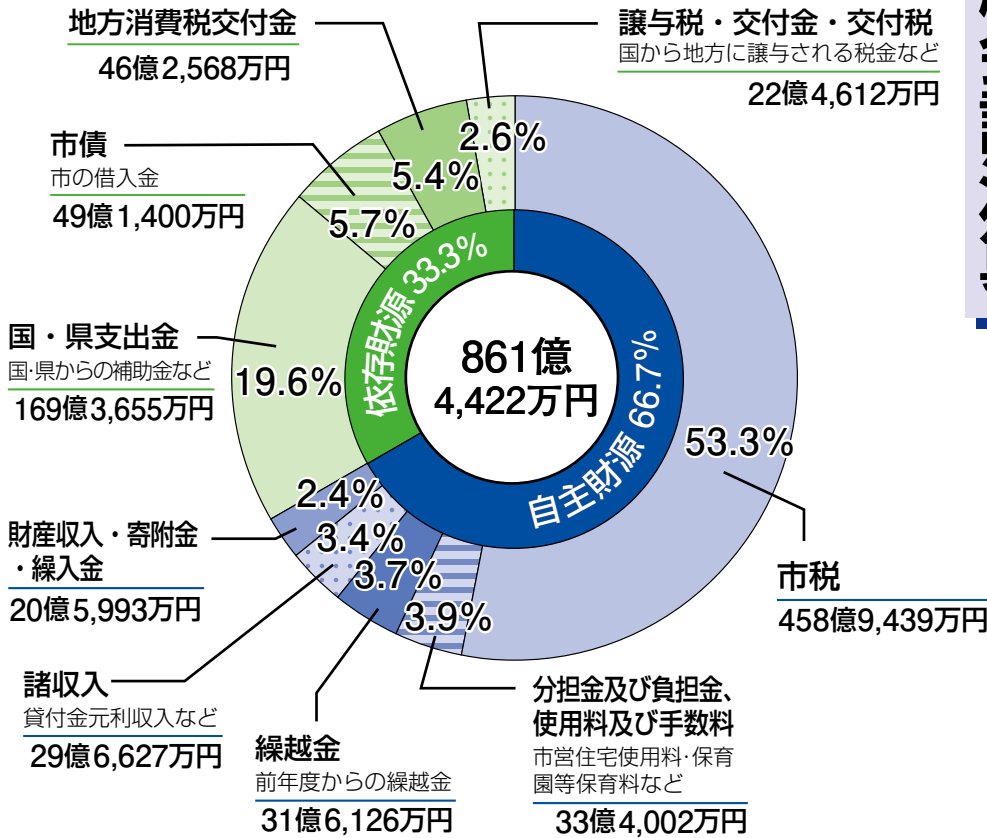


# 平成28年度 決算報告

## 一般会計決算

歳入 861億4,422万円



### 歳入の内訳

区分	決算額	構成比
自主財源	市税	458億9,439万円 53.3%
	個人市民税	146億3,289万円 17.0%
	法人市民税	31億1,612万円 3.6%
	固定資産税	218億7,944万円 25.4%
	軽自動車税	6億2,239万円 0.7%
	市たばこ税	19億9,375万円 2.3%
	都市計画税	36億4,980万円 4.3%
分担金及び負担金、使用料及び手数料	33億4,002万円 3.9%	
繰越金	31億6,126万円 3.7%	
諸収入	29億6,627万円 3.4%	
財産収入・寄附金・繰入金	20億5,993万円 2.4%	
小計	574億2,187万円 66.7%	
依存財源	国・県支出金	169億3,655万円 19.6%
	市債	49億1,400万円 5.7%
	地方消費税交付金	46億2,568万円 5.4%
	譲与税・交付金・交付税	22億4,612万円 2.6%
	小計	287億2,235万円 33.3%
合計	861億4,422万円 100.0%	

皆さんの納めた税金が、この1年間でどのように使われたのかを確かめてみましょう。

### 歳入の50%以上は市税

歳入の50%以上は、市民・企業の皆さんに納めていただいた市税です。平成28年度の市税の決算額は約459億円で、前年度並みとなりました。

これは、法人市民税が税制改正の影響などにより約5億円の減収となった一方で、固定資産税・都市計画税が家屋の新増築の増加などにより、約5億円の増収となったことなどが主な要因として挙げられます。

### 歳出は民生費が最多

歳出は、目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が約36%を占め、最も多くなっています。

民生費は、子ども子育て関連経費や生活保護費などの社会保障関係経費が、今後も高水準で推移することが見込まれます。



◆用語の説明◆

**歳入**

年度内に入ってきたお金

**歳出**

年度内に使ったお金

**自主財源**

市が独自に徴収することができるお金。市民税、固定資産税、使用料や手数料など

**依存財源**

国や県などから入ってくるお金。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方消費税交付金、市債など

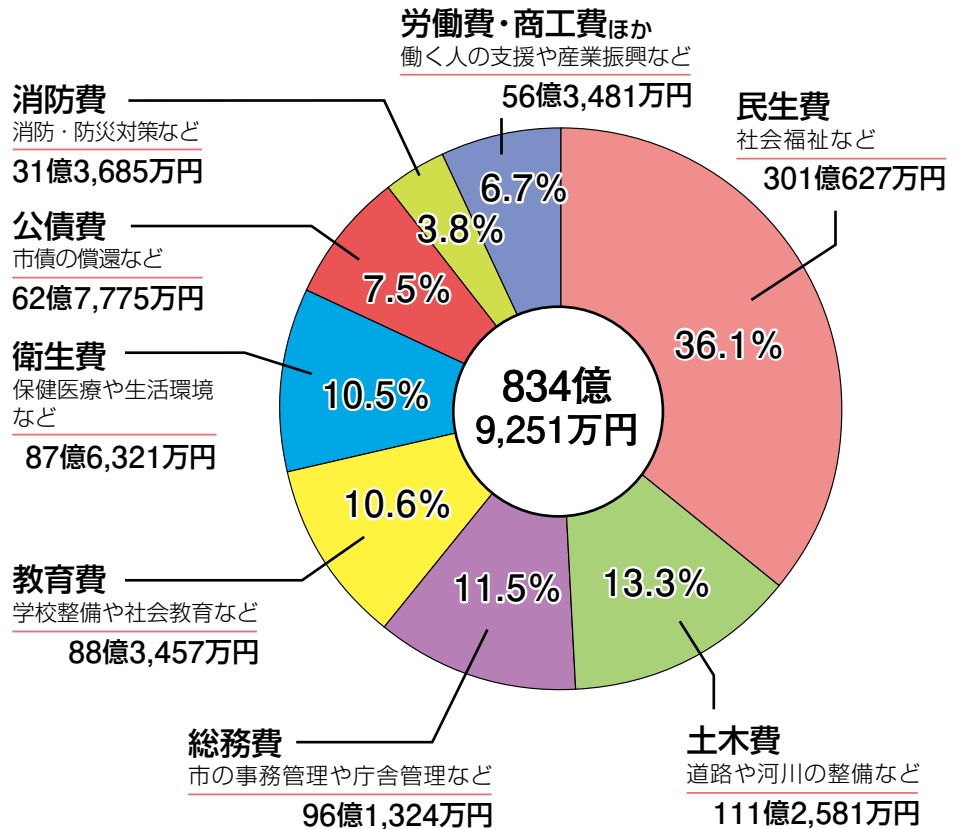
**国・県支出金**

特定の事業の財源として、国や県から交付されるお金

**市債**

市が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金

# 歳出 834億9,251万円



歳入 564億3,089万円

歳出 553億3,397万円

富士市には17の特別会計がありますが、表中では財産管理特別会計(全11会計)を省略しています。

特別会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	309億1,154万円	302億5,628万円
後期高齢者医療事業	45億2,768万円	45億388万円
介護保険事業	181億4,282万円	178億8,641万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	12億5,568万円	12億5,014万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	12億9,837万円	12億8,998万円
駐車場事業	7,141万円	6,631万円

特別会計とは

特定の事業を行うため、一般会計と区分けして設けた会計です。事業収益や一般会計からの繰入金などが主な財源で、行政と一体の経営、運営を行っています。

## 特別会計決算

**水道事業**

事業収益合計 34億7,095万円  
事業費用合計 27億2,540万円  
純利益 7億4,555万円

**公共下水道事業**

事業収益合計 63億71万円  
事業費用合計 50億953万円  
純利益 12億9,118万円

**病院事業**

事業収益合計 139億5,345万円  
事業費用合計 140億2,962万円  
純損失 -7,617万円

企業会計とは

法令に基づき、独立採算を原則に企業の経営で運営される会計です。

## 企業会計決算

# 富士市の財政状況

★矢印は前年度からの変化です。

↑…前年度から改善されたもの

↓…前年度より悪化したもの

## 一般会計の市債残高

自治体の借金の残高

過去最高額は平成8年度の757億円です。

対象事業が少なかったため、新規借入額が減少しました。

714億円 → **707億円**

## 基礎的財政収支(プライマリーバランス)

9.3億円の赤字 → **0.3億円の赤字**

市債と繰越金及び基金の取り崩しを除いた歳入と、市債の償還費用と基金積立金を除いた歳出の差  
国・県支出金などの収入がふえたため、赤字が減少しました。

## 実質公債費比率

実質的な公債費(市債の元利償還金)が財政に及ぼす負担をあらわす指標

18%を超えると、新たな借金には国の許可が必要になります。

早期健全化基準(25%)を大きく下回っており、健全な財政状況となっています。

2.9% → **2.5%**

## 財政力指数(単年度)

財政の豊かさを示す指標で、国が定めた基準の需要額と収入額の比率

1を下回ると国から普通交付税が交付されず、償却資産の増などの影響により基準財政収入額が増加したため、昨年度より上昇しました。

0.993 → **0.999**

## 将来負担比率

自治体が将来支払う可能性がある負債の収入に対する比率

早期健全化基準(350%以上)を大きく下回っており、健全な財政状況となっています。

64.2% → **61.2%**

## 経常収支比率

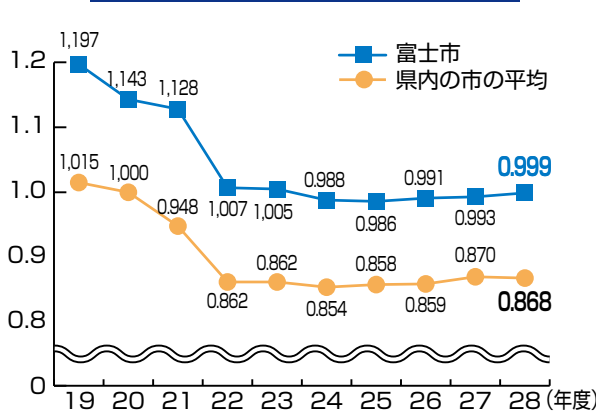
市税など毎年度収入される財源のうち、義務的な経費など、毎年度支出される経費に充てた割合

扶助費(住民の福祉を支える経費)などが増加したため、上昇しました。

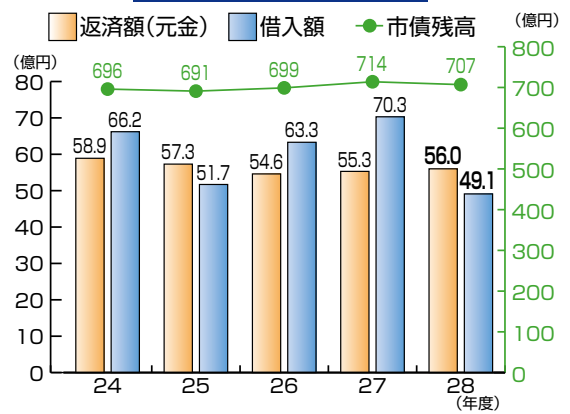
81.1% → **84.2%**

## 〈財政状況の推移〉

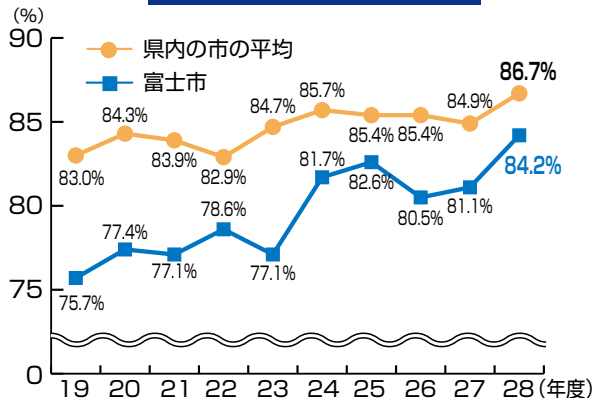
財政力指数(単年度)の推移



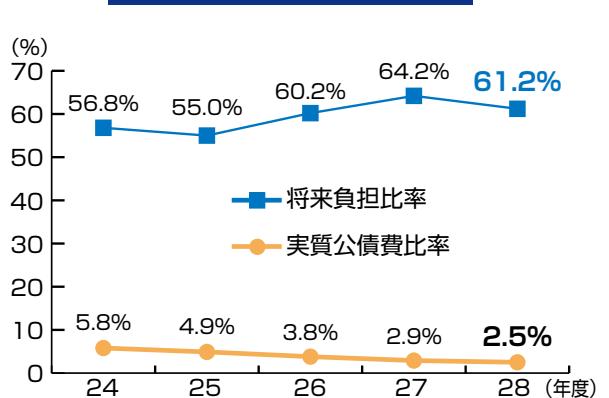
市債の推移



経常収支比率の推移



健全化判断比率の推移



# 皆さんの税金はこのように使われています 平成28年度実施事業の一部を紹介

## 民生費

- 敬老事業 1億 743万円
- 児童手当支給事業 42億9734万円  
中学校修了前までの子どもが対象。  
延べ39万5078人に支給
- こども医療費助成事業 7億6540万円  
中学校修了前までの子どもが対象。  
延べ52万3708人に助成
- 障害者自立支援事業 41億8275万円
- 生活保護費支給事業 25億1492万円

## 土木費

- 新富士インター・城山線新設事業 4億5298万円
- コミュニティバス等運行事業 2389万円
- 本市場大淵線整備事業 2億1100万円
- 木造住宅耐震補強事業 8826万円  
耐震補強工事を実施する一般世帯  
及び高齢者世帯などへの助成

## 総務費

- 若い世代定住促進支援事業 7232万円  
若者世帯定住支援奨励金（スミド  
キU-40）72件など
- 防犯まちづくり推進事業 6407万円  
防犯用街路灯の設置、維持管理経  
費の町内会に対する助成など
- まちづくりセンター運営・管理事  
業 9億2516万円  
市内26地区まちづくりセンターの  
運営及び施設管理など
- 富士南まちづくりセンター建設事  
業 1億4580万円

## 教育費

- 吉原第二中学校屋  
内運動場改築事業 5億9797万円
- 吉原東中学校屋内  
運動場改築事業 6億 409万円
- (仮称)紙のアートミュージアム事  
業 6408万円  
展示・交流スペース整備など



吉原東中学校屋内運動場

## 衛生費

- 予防接種事業 6億4898万円  
4種混合、日本脳炎、インフルエ  
ンザ、肺炎球菌ワクチンなど  
接種人数延べ11万5222人
- がん検診推進事業 2億6756万円  
受診人数延べ6万7026人
- 新環境クリーンセンター建設事業 6億4458万円  
仮設道路工事、用地取得など
- 新エネルギー・省エネルギー普及  
事業 2905万円  
ゼロエネルギー住宅などを導入す  
る市民、太陽光発電施設などを整  
備する中小企業者に対する助成な  
ど

- 砂山公園プール改  
修事業 1億1436万円  
ストリートスライ  
ダー改修、水遊具  
整備など



ストリートスライダー

## 消防費

- 消防車両整備事業 7729万円  
高規格救急自動車の更新（中央消  
防署大淵分署、西消防署鷹岡分署）  
など
- 防災無線整備事業 1億2593万円  
フルデジタル同報無線受信局更新  
など

## 商工費

- 企業立地推進事業 8億4898万円  
企業立地促進奨励金66件など
- シティプロモーション推進事業 2010万円  
「富士市ブランドメッセージ」の  
推進  
など



富士市ブランド  
メッセージ

- 富士山活用推進事業 514万円  
富士山登山ルート3776など
- 富士川楽座施設  
管理事業 9060万円  
戸塚洋二ニュー  
トリノ館整備な  
ど



戸塚洋二ニュートリノ館

## 問い合わせ／財政課

☎(51)1479  
☎(55)2725

決算報告について詳しくは、市ウ  
ェブサイトをぐらんどください。  
「市ウェブサイト」くらしと市政↓市政情  
報↓財政↓決算